

特59

921

伊賀越仇討全



12216

Dei / 第 7 / 卷 / 内務省交付



沢井又五郎のねい久也
トヨシキリノスズキハナ

身
ノ
二
廿
ノ

伊賀越



おきん

沢井と

あぢ

あぢの

渡辺教員

おれはたひ
たひはたひ

伊賀越



あつてふ

又五郎を

ばぢーめ
たれが

沢井ハ

大いハ
沢井又五郎

おきん

おきんのかうを

おきんのかうを

そのをもうちくえりたり

くはけを

又五郎ハ

くはけ

おきん

おきん

おきん

おきん

おきん

老年の



かみゆらちの
 ねんせいの
 志津十の
 大いなる
 御前
 さぐり
 たり



かみゆらちの
 ねんせいの
 志津十の
 大いなる
 御前
 さぐり
 たり

御前

かくて
志津八
吉日を待ち
家臣多石
武介池
添孫八
の二入
供まられ
母ふ
いま
とひを
する



敦貞ノ妻

ま従三人
いさ
出立
田くさめ
れどかたき
まがり
とて
さらふ
おちく月
日をちる
赤津八の妻

池添孫八

かたりて
おとそ



渡辺志津摩

伊賀越

石溜武介ハ怒リ
ひきまゝに出立

あつては
うば

石溜武介



大八奥
沢井又五郎



伊賀越

五

作
大
走

荒木政右門ハ柳生
流のたふらんふて本田
家ふつふへ師ふん
はんふりーが志うと
やまを討れーいら
俣志津たかて死
うもふつそく
たれすはびさ
せんとかひて
主人大内記の
まふいぞ

荒木政右門



▲日ごろのぞこ
たまひ柳生

あらの
いとまき
ふひたう
け
木田大内記
政右門のふまの
ねたひをひきり
かれが武雄をひきり



流のぶくい
しんせうひん
のぞこふま

政右門も
主人も

×さくひん
ふてたび
たちけり

木田大内記

丹 貫 越



伊内鬼玄冊

政右門ハ三十六人を
みまごころよる

伊内鬼玄冊



いづの
うたの
かた
みあ
●ひあ 出る



石とあ
武介
池添
孫八の
両個ハ
てきの
中

わて志津太
さまかん免
しんくしん
年月をかり
まろくしそ
うがのうゑの
みかたに
沢井又五郎
めがひ
渡辺志津摩



沢井又五郎

あれ
まわり
大いふ
はま
けき

てきのけい
大勢也
さうしん
せん
又五郎を
めがひ
切てかり
互ひは秘術
せつて
たごひ
志津太
あうし



政原内ハ志津上公
あまうきをえてはり
きたり又五郎とむり
あひつゝいふを
とげみかゝるんちへたち
かへり志津上ハわさるゝの
家をかゝるはる
あまうきをえてはり

明治廿二年九月廿日 印刷
明治廿一年四月廿日 出版

浅草区尾町二番地

著作者
兼
印刷人
森本順三郎

